

## 令和6年度 沖永賞受賞の言葉

### ● 森永 雄太 先生

「この度は沖永賞という伝統ある素晴らしい賞をいただき誠にありがとうございます。選考委員の先生方、ご指導くださった先生方、研究仲間、調査協力者の皆様、そして出版の機会を頂きました千倉書房の岩澤孝様に心より感謝申し上げます。受賞を通じ、組織行動論が労働問題に貢献できることを示せたことを光栄に思います。今後も引き続き、様々な働き手がいきいきと働けるマネジメントの探求に邁進いたします。この度は誠にありがとうございました。」

### ● 高島 正憲 先生

「このたびは、伝統ある沖永賞をいただき、ありがとうございます。前近代の長期の賃金史という特異な分野で、まだ途上段階の研究であるにもかかわらず、評価していただき、とてもうれしいです。これからも頑張って研究に励んでまいります。」

### ● 永瀬 伸子 先生

「この度は、沖永賞をいただき誠に光栄に存じます。国際的にみてもなぜ日本の男女賃金格差が大きいのか、それが日本の家族、家族形成にどのような影響を与えているのかについて、これまでの私の研究をまとめた本書に賞をいただき、大変嬉しく、深く感謝申し上げます。研究を支えてくださった先生方皆様、統計調査やインタビューに協力してくださった皆様に心より御礼申し上げます。今後も日本の女性労働と家族の課題について、研究を続けていきたいと思っております。」

### ● 日原 雪恵 先生

「この度は、伝統ある沖永賞を賜り、大変光栄に存じます。これまでご指導くださった先生方、ご推薦・ご審査いただいた先生方および事務局の皆様、心より御礼申し上げます。今回の受賞を励みに、さらに研究を進めるべく精進して参ります。」